

**2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)**

2020年8月5日

上場会社名 日東工器株式会社  
 コード番号 6151 URL <https://www.nitto-kohki.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 明誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務本部長IR担当 (氏名) 野口 浩臣

TEL 03-3755-1111

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,120	△26.3	381	△67.4	414	△65.2	297	△63.1
2020年3月期第1四半期	6,944	△3.9	1,169	△14.5	1,189	△18.4	805	△22.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 8百万円 (△98.9%) 2020年3月期第1四半期 800百万円 (51.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	14.49	—
2020年3月期第1四半期	37.98	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	60,136	53,300	88.6	2,606.99
2020年3月期	61,809	54,107	87.5	2,620.66

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 53,292百万円 2020年3月期 54,100百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	31.50	—	21.50	53.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の第2四半期及び期末の配当は、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想は、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。

詳細は、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	21,803,295 株	2020年3月期	21,803,295 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,361,007 株	2020年3月期	1,159,707 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	20,541,263 株	2020年3月期1Q	21,215,531 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響により、悪化が続き厳しい状況となりました。日本経済においても、政府による緊急事態宣言発令などの感染症対策により、景気は急速に悪化しました。当該感染症の影響は当面は続くと思われまます。

このような経営環境の中で、当社グループは、感染症発生に伴う需要の減少などの影響を受け、当第1四半期連結累計期間における売上高は51億20百万円となり、前第1四半期連結累計期間69億44百万円と比較すると、26.3%の減収となりました。利益面では、感染症発生に伴う売上減少や、生産調整などの影響を受け営業利益は3億81百万円となり、同11億69百万円と比較すると67.4%の減益、経常利益は4億14百万円となり、同11億89百万円と比較すると65.2%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億97百万円となり、同8億5百万円と比較すると63.1%の減益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、国内外での生産現場における設備投資需要が落ち込み、売上高は20億63百万円（前第1四半期連結累計期間比31.0%の減収）となりました。利益面では、減収及び生産調整により、営業利益3億21百万円（同58.1%の減益）となりました。

機械工具事業は、堅調であった建設業界向けの販売が減少し、売上高は16億12百万円（同30.4%の減収）となりました。利益面では、減収及び生産調整により、営業損失2百万円（前第1四半期連結累計期間は2億82百万円の利益）となりました。

リニア駆動ポンプ事業は、国内の販売は減少しましたが、海外の販売が堅調に推移した結果、売上高は9億58百万円（同5.9%の減収）となりました。利益面では、原価率の減少により、営業利益は43百万円（同32.1%の増益）となりました。

建築機器事業は、国内とアジアでの需要に一服感があり、売上高は4億86百万円（同21.4%の減収）となりました。利益面では、減収により、営業利益18百万円（同78.3%の減益）となりました。

海外売上高は、16億69百万円（前第1四半期連結累計期間比15.8%の減収）となり、海外売上高の連結売上高に占める割合は32.6%となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、601億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億72百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は429億73百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億81百万円の減少となりました。これは主に有価証券の減少13億99百万円、受取手形及び売掛金の減少9億46百万円、商品及び製品の増加4億33百万円、現金及び預金の増加2億18百万円等によるものであります。

固定資産は、171億63百万円となり、前連結会計年度末と比較して90百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産の減少1億43百万円、繰延税金資産の減少39百万円、無形固定資産の減少22百万円、投資有価証券の増加1億10百万円等によるものであります。

負債の部では流動負債は、27億31百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億25百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少4億19百万円、賞与引当金の減少3億24百万円等によるものであります。

固定負債は、41億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して38百万円の減少となりました。これは主にリース債務の減少58百万円、退職給付に係る負債の増加11百万円、役員退職慰労引当金の増加8百万円等によるものであります。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2億97百万円でしたが、配当金の支払い4億43百万円があったため、利益剰余金は、1億46百万円の減少で520億55百万円となりました。また、為替換算調整勘定が3億76百万円の減少、自己株式が3億72百万円の増加、その他有価証券評価差額金が76百万円の増加、退職給付に係る調整累計額が11百万円の増加等があったため純資産合計は、533億円となり、前連結会計年度末と比較して8億7百万円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、営業活動の制限や、工場では休業日を設けて生産調整を行っております。また感染症拡大の収束の兆しは見られず、今後の事業活動への影響は不透明な状況です。事業への影響が合理的に予想できず、業績への影響も非常に大きいことから、業績予想を未定として開示を控えていただきます。改めて業績予想が可能になりました時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,399	25,617
受取手形及び売掛金	4,481	3,535
電子記録債権	2,459	2,343
有価証券	5,499	4,099
商品及び製品	3,766	4,199
仕掛品	256	307
原材料及び貯蔵品	2,298	2,400
その他	396	473
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	44,555	42,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,257	11,229
減価償却累計額	△5,952	△6,007
建物及び構築物(純額)	5,304	5,222
機械装置及び運搬具	4,324	4,257
減価償却累計額	△3,117	△3,124
機械装置及び運搬具(純額)	1,206	1,132
工具、器具及び備品	7,195	7,261
減価償却累計額	△6,616	△6,662
工具、器具及び備品(純額)	578	599
土地	3,674	3,666
リース資産	2,057	2,025
減価償却累計額	△844	△887
リース資産(純額)	1,213	1,137
建設仮勘定	271	348
有形固定資産合計	12,249	12,106
無形固定資産		
その他	666	644
無形固定資産合計	666	644
投資その他の資産		
投資有価証券	2,693	2,803
長期貸付金	46	43
繰延税金資産	1,368	1,328
その他	244	252
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,337	4,412
固定資産合計	17,253	17,163
資産合計	61,809	60,136

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	798	772
リース債務	256	240
未払法人税等	557	137
賞与引当金	561	237
役員賞与引当金	21	6
その他	1,361	1,337
流動負債合計	3,557	2,731
固定負債		
リース債務	953	894
退職給付に係る負債	2,624	2,636
役員退職慰労引当金	227	235
資産除去債務	11	11
その他	326	326
固定負債合計	4,144	4,105
負債合計	7,701	6,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,924	1,924
利益剰余金	52,201	52,055
自己株式	△2,216	△2,588
株主資本合計	53,759	53,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	509	586
為替換算調整勘定	△3	△380
退職給付に係る調整累計額	△165	△154
その他の包括利益累計額合計	340	51
非支配株主持分	7	7
純資産合計	54,107	53,300
負債純資産合計	61,809	60,136

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	6,944	5,120
売上原価	3,369	2,560
売上総利益	3,575	2,560
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	621	609
賞与引当金繰入額	178	126
退職給付費用	41	51
役員退職慰労引当金繰入額	8	9
販売促進費	262	188
研究開発費	212	215
その他	1,080	977
販売費及び一般管理費合計	2,405	2,179
営業利益	1,169	381
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	34	27
雇用調整助成金	-	13
受取家賃	8	9
その他	8	11
営業外収益合計	59	67
営業外費用		
売上割引	25	22
為替差損	11	8
その他	2	3
営業外費用合計	39	34
経常利益	1,189	414
税金等調整前四半期純利益	1,189	414
法人税等	383	116
四半期純利益	806	297
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	805	297

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	806	297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84	76
為替換算調整勘定	76	△377
退職給付に係る調整額	2	11
その他の包括利益合計	△5	△289
四半期包括利益	800	8
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	800	9
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の広がり方や収束時期を正確に予測することは困難な状況にあります。2021年3月期においては、2020年5月まで政府から発令された緊急事態宣言や、自治体からの外出自粛要請等による経済活動の縮小により売上高の減少が発生しているものの、同年7月以降、2021年3月期の一定期間にかけて当該状況が正常化してゆくと仮定に基づき繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度末から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	2,989	2,316	1,019	618	6,944
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,989	2,316	1,019	618	6,944
セグメント利益	767	282	32	87	1,169

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	2,063	1,612	958	486	5,120
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,063	1,612	958	486	5,120
セグメント利益又は損失(△)	321	△2	43	18	381

セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。